

「マラン」

タル・ロビン

10月7日月曜日午前11時スファラディ系ラビで、シャス党のリーダーであるオバディヤ・ヨセフ師が93歳で他界しました。数時間後の午後6時に行なわれた葬儀には、大勢の人が告別のため、エルサレムの通りに詰めかけました（報告により45万～85万人の開き）。このような大人数の人がエルサレムに集まるのは、聖書時代以来でした。

オバディヤ・ヨセフは1920年にイラクにて誕生し、4歳の時にイスラエルに家族と移民しました。私たちの世代における最も影響力のあるラビとなったのです。宗教指導者として最高の称号、マラン（アラム語で師、主）を与えられる程、敬意を集めていました。通りでは群衆が、「マラン」亡き後どのようにやっていったら良いのかと、涙していました。

ヨセフは、ブレスラウ（ポーランドの都市）のナフマン、ルバフィットヒャル・レビ・シュネールソンに続く、ユダヤ教における3人目の「メシア的」人物となりました。アラム語では**Ata**は「来ること」を意味するので、アラム語でメシア的ラビが来るように懇願することは、**Maran Ata**となります（新約では「マラナタ」と音写）。どうぞ、私たちの民が、死から甦った唯一なるラビに対し、真の信仰をもって「来てください」と祈るようになるよう、ともに祈りください。**Maran Ata！主イエシュアよ、来てください！**

虹と割礼

アシェル・イントレータ

今週エルサレム・Congregationのメンバーが、彼の長男の割礼式を行ないました。スファラディ系ユダヤ人である彼の大家族の多くが出席しました。式自体は、私たちのイエシュアへの信仰は、我々の先祖に対する契約に継続しているものであり、それらを否定するものではないことを証しする重要なものとなりました。

今週欧州共同体は、割礼は子供にとって、その身体の完全性を傷つけるものとして、法的拘束力のない決議を通しました。欧州の多くはこの習慣を違法なものにしてしまいたいと望んでいます。割礼はイスラム教の重要な儀礼の一部でもあるため、面白いことにユダヤ人とイスラム教徒は、この案件については共同戦線をはる可能性があります（創世記 17:23）。

今週のモーセ5書の朗読箇所は、割礼の契約を含んだアブラハムに関する箇所でもありました（創世記 12～17章）。そして先週の朗読箇所はノアの洪水および神と彼との契約に関する箇所でした（創世記 6～11章）。では簡単にアブラハムの契約とのあの契約を比べてみましょう。

ノアの契約はアブラハムのものより先に交わされたので、アブラハムの契約はノアの契約一部であり、またその発展型であるといえます。アブラハムの契約は、事前にノアのために出された従前の計画に従うものです。

ノアの契約は神による世の国々の最終的な行き先を記し（創世記 9:16）、一方アブラハムの契約は一次的にユダヤ人に対するものです（創世記 17:19）。ノアの契約は地球全体についての神の意思であるのに対し、アブラハムのはイスラエルの地のものなのです。ユダヤ人とイスラエルの地の目的は、他の国や地上の他の地にとっての祝福となることなのです。

ノアの契約のしるしは栄光の虹でしたが、アブラハムの方のしるしは血だらけの包皮でした。双方とも象徴としての意味があります。それらは最終的に双方ともイエシュア（イエス様）御自身と関係があるのです。一方は天的で、他方は地的です。それぞれがイエシュアを神の子、そして人の子であることを示しているのです。

虹は多様に輝く異邦人の教会の象徴で（黙示録 7:9）、それは七枝の燭台に似ていますが（黙示録 1:20）、多様な色という要素がプラスされています。色は地上の国々の異なった民族、文化、言語を表しているのです。

虹が光を放っているように、復活した生徒たちも栄光に輝くのです（ヨハネ 17:22、第 1 コリント 15:41~43）。それらの色が完璧な調和の中にあるように、私たちも信仰にあって完全な和を得るのです（ヨハネ 17:23）。虹が太陽の光を反射しているように、私たちは太陽のごとく輝くイエシュアの御顔の光を反射するのです（黙示録 1:16）。[神の御座を虹が囲んでいます（黙示録 4:3）]

割礼はイエシュアの誕生および彼の肉的なダビデの家系を示しています（マタイ 1:1、ローマ 1:3）。イエシュアの誕生は、神の不思議が肉体のうちに実現したことでした（ヨハネ 1:14、第 1 テモテ 3:16）。イエシュアは単にこの地上に生まれたのではなく、ここに来た時、割礼も受けられたのです（ルカ 2:21）。

割礼は、神の約束が、過去、現在、未来を通して変わらないことを表しています（ローマ 15:8）。割礼は十字架と平行的な意義を持っています。双方とも、イエシュアの肉体は傷つけられ血を見たのです。割礼は、神殿での犠牲そしてイエシュアの犠牲を予示していたのです。イエシュアは旧約聖書を彼の割礼によって確立し、また新約聖書を彼の十字架で完成させました。